

環境教育関連施策・事業一覧

< 2010 年度版 >

札幌市環境局

目 次

1	はじめに	1
2	札幌市環境教育基本方針で示す環境教育	2
3	環境教育関連事業一覧（環境局・教育委員会連携事業）	4
4	環境教育関連事業一覧	6

1 はじめに

「環境教育関連施策・事業一覧」は、札幌市環境教育基本方針に基づき、家庭・学校・地域・職場などのあらゆる場において環境教育を推進するため、具体的な取り組みを明示したものであり、次の3つの項目から構成されています。

札幌市環境教育基本方針で示す環境教育

「札幌市環境教育基本方針」で示される環境教育について示しています。

環境教育関連事業一覧（環境局・教育委員会連携事業）

平成 22 年度（2010 年度）における札幌市環境局と教育委員会とで連携して行っている環境教育関連事業を示しています。

環境教育関連事業一覧

平成 22 年度（2010 年度）における札幌市の各部局における環境教育関連事業を示しています。

札幌市ではこれらの項目を原則として毎年度とりまとめ、環境教育に関する施策の実施状況を把握し、今後の方向性を示すとともに、市の各部局における環境教育関連事業を明示することにより、環境教育を効果的・体系的に推進していきます。

2 札幌市環境教育基本方針で示す環境教育

札幌市環境教育基本方針における基本理念と取組の柱

札幌市環境教育基本方針では、以下の基本理念に基づき環境教育を推進することとし、その取組について4つの柱を示しています。

【基本理念】

持続可能な社会をつくるため、環境の保全・創造に向けた意識を持ち、自ら考え行動する「人」と「人と人とのつながり」を育てます。

【取組の柱】

- | | |
|--------------|----------------|
| (1) 人材の育成 | (2) 情報の共有・活用 |
| (3) プログラムの作成 | (4) 機会づくり・場づくり |

重点化するテーマ、行動、対象

札幌市環境教育基本方針では、対応の緊急性が高い地球環境問題に着目し、誰もが取り組みやすい身近なことを重点行動として、効果的に環境教育をすすめるため、以下のテーマ、行動、対象を重点化しています。

重点化するテーマ

地球環境問題への対応

重点化する行動

「省エネ行動を進めます！」

「ごみ減量・リサイクルを進めます！」

「水とみどりを守り育てます！」

重点化する対象

子ども（学校）を対象

3 環境教育関連事業一覧（環境局・教育委員会連携事業）

札幌市環境教育基本方針に基づき、子ども(学校)を対象とした環境教育を推進するため、札幌市環境局と教育委員会とで連携して事業を行っています。

札幌らしい特色ある学校教育

札幌市教育委員会では、札幌市学校教育の重点の中に学校教育の今日的課題の一つとして「環境教育」を掲げるとともに、平成 21 年度より「札幌らしい特色ある学校教育」の中に「未来の札幌を見つめる【環境】」を示しました。これにより、札幌市の学校教育における重要なテーマの一つとして「環境」に取り組むこととなりました。

環境局と教育委員会との連携事業

札幌市環境局と教育委員会では、児童・生徒に対する各種事業を連携して実施することにより、より効果的な環境教育の実施を推進しています。

総合的環境副教材・教員用手引書

改訂にあたっては、市立小学校教員による「環境副教材の修正に係るワーキンググループ」を開催し、修正作業を行いながら作成しています。平成 22 年度につきましては部分的な改定を行いました。4月に小学校、新1, 3, 5年生に対して全員配布しました。

環境教育へのクリック募金

インターネットを活用した環境教育への支援制度として、環境プラザのホームページに「環境教育へのクリック募金」サイトを平成 17 年 5 月から設けています。

この制度は、環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金とする企業の社会貢献活動の仕組みです。

平成 22 年度は、29 の小中学校に、小型光電池や手回し発電機のほか、フードリサイクル実践用として生ごみ堆肥化実験セットなどの環境教育教材を寄贈しました。

校外学習用バス貸出事業

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、平成 19 年度から小学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。平成 21 年度には対象を中学校まで広げています。

応募校数と採用校 校数はのべ数 / ()内は実施校 バス利用台数はのべ数 / ()内はCNGバス

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
応募校数	71校	77校	71校	107校
利用校数	43校(42校)	54校(52校)	69校(66校)	88校(77校)
バス利用台数	94台(0台)	115台(23台)	152台(19台)	184台(0台)

校外学習の見学先や学習内容、エコライフレポートへの取り組み率などを考慮し、環境局・教育委員会で採用校を決定しています。

主な見学先(H22年度実績)

施 設	利用校数(のべ数)
水道記念館(藻岩浄水場含む)	34
白石清掃工場	19
中沼リサイクル団地	16
定山溪ダム(資料館含む)	15
下水道科学館	15
駒岡清掃工場	9
サッポロピリカコタン	7
発寒清掃工場	7
モエレ沼公園	6
創成川水処理センター	5

かんきょう元気通信 バージョン2

市長から札幌市の取組の様子などの写真入りの「メッセージカード」を市立小中学校の全クラスに届け、子どもたちに紹介することによって、札幌市の取組を身近に感じてもらい、環境意識を高めるとともに、環境活動への喚起を促すことのできるものとして「かんきょう元気通信 バージョン2」を作成し、平成 22 年度は夏と冬の2回作成しました。

環境教育に係る実践事例集の作成、発信事業

平成 22 年度の国の補正予算を活用した重点分野雇用創造事業として、市立の小・中・高等学校における環境活動をはじめ、子どもたちの自主的な活動や地域と結びついた実践などを取材したうえで、特色ある取組や他の学校においても取組可能な優れた内容などを紹介する「環境教育に係る実践事例集」を作成し、配布しました。

かんきょう元気新聞

次代を担う子どもたちの環境意識をさらに高めるため、そして環境に優しい行動に取り組んでもらうため、札幌市で行っている様々な環境への取組等を子どもたちに伝える環境に関する壁新聞を発行しました。今年度から対象に 4 年生を加え、市立小学校 4 ～ 6 年生の全クラスに拡大しました。

発行にあたっては、札幌市環境教育基本方針推進委員会の委員から 3 名、編集委員として編集にあたっていただいております。

さっぽろこども環境コンテスト 2010

小中学生を対象にした、環境活動コンテスト「さっぽろこども環境コンテスト 2010」を、11月27日（土）に札幌エルプラザで開催しました。

[審査員]

審査員長	北海道大学大学院教育学研究院 教授	大野 栄三 氏
審査員	北海道札幌藻岩高等学校 校長	大川 徹 氏
審査員	札幌市環境教育基本方針推進委員会 委員	宮森 芳子 氏
審査員	札幌市環境局環境都市推進部長	宮佐 直紀

[発表団体]

小学生の部	中学生の部
平岡南小学校	定山溪中学校
百合が原小学校	真駒内曙中学校
美香保小学校	宮の森中学校
琴似中央小学校	星置中学校
東白石小学校	屯田北中学校
	向陵中学校

4 環境教育関連事業一覧

札幌市の各部局における環境教育関連事業を示しています。

分野別の関連は、札幌市環境教育基本方針における3つの重点化行動、「省エネ行動を進めます!」「ごみ減量・リサイクルを進めます!」「水とみどりを守り育てます!」と対応しています。

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
1	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo	会場で使用するカップや皿については、リターナブル容器を使用し、会場内で洗浄、再使用します。				総務局 国際部交流課 211-2032
2	エコクッキング事業	地域住民を対象に、エコクッキング講座、パネル展などを各区で実施します。また、ボランティア団体である食生活改善推進員協議会が食を通じた健康づくりとエコクッキングを地域へ広めるための講習会等を開催します。				保健福祉局 保健所 健康企画課 622-5151
3	市立東橋小学校の総合的な学習の時間への協力	環境教育に関する事業の一環として、近隣の小学校で計画している総合的な学習の時間「私たちの周りの空気・水を調べよう」に職員を派遣し、講義・実験等を行います。				保健福祉局 衛生研究所 生活科学課 841-8875
4	児童会館事業	児童会館全館(104館)において、地域のごみ拾い、リサイクル工作などの事業を実施するとともに、畑作りやハイキング・キャンプ・自然体験などの野外活動を通じた環境全般への関心を高める取組を行っています。また、「節水大作戦」など、楽しみながら学べる環境学習プログラム(21世紀子ども放課後環境教育プロジェクト)を実施しています。				子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 211-2982
5	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業	廃材等を活用した体験活動や環境美化に関する活動等を実施している。				子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 211-2942
6	シンガポール少年少女交流事業 ノボシビルスク少年交流事業	交流事業の事前・事後研修において、環境に関する学習・調査を取り入れている。また、環境についての理解を深める機会をプログラムに盛り込むように実施している。				子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 211-2942
7	子ども議会	環境問題に関する提案等を実施している。				子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 211-2942
8	青少年キャンプ場管理運営	自然環境の中での体験活動を実施している。				子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 211-2942
9	こどものまち「ミニさっぽろ」事業	会場で使用するカップ等食器については、リターナブル容器を使用し、会場内で洗浄、再使用している。				子ども未来局 子ども育成部 子どもの権利推進課 211-2942
10	小学校・中学校への出前教室	出前講座の一環として小学校・中学校へ出向き「ごみの減量とリサイクル」について授業を行います。				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
11	ごみ減量アクションプログラム支援事業	さっぽろスリムネットにおいて、次の5つのプロジェクトを展開し、ごみ減量・資源化の推進を図ります。 生ごみ減量、紙ごみ減量、容器包装減量、リユース実践、普及啓発				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
12	普及啓発冊子の充実	ごみの減量に関する啓発冊子「さっぽろ GOMI マガジン」や、生ごみを堆肥化するための情報をまとめた「生ごみハンドブック」のほか、資源物リサイクルの流れを分かりやすく紹介する「札幌市のリサイクル」を配布し、周知・啓発を図っています。				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
13	定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業	ホテル・旅館から排出される生ごみを堆肥化し、農産物生産にまで結びつけることで、地域振興にも寄与する地域内循環に取り組んでいきます。				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
14	廃食油のリサイクル	スーパーマーケット、レストラン、市の施設等に設けられた回収拠点にて、市民から使用済み食用油を回収し、バイオディーゼル燃料に資源化します。				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
15	集団資源回収	紙類・びん類・金属類・布類について、登録団体に対し、資源の回収量1kgにつき3円の奨励金を交付します。また、回収業者にも奨励金（1kgにつき新聞が0円、段ボール・布類が4円、その他の品目が1円）を交付します。				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
16	買い物ゲーム出張講座	ゲームを通して、ごみを出さない買い物について学ぶ「買い物ゲーム」を、希望場所まで出向いて実施する出張講座をさっぽろスリムネットにおいて実施しています。				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
17	おもちゃばくりっこ	使わなくなったおもちゃを持ってきて、気に入ったおもちゃと交換することができる「おもちゃの交換会」をさっぽろスリムネットにおいて開催しています。（札幌消費者協会との共催）				環境局 環境事業部 ごみ減量推進課 211-2928
18	市民ごみ減量講座	市民向けにごみの減量・リサイクル等に関する学習会を実施します。				リサイクル プラザ宮の沢 671-4153
19	リフォーム教室	古着及び家具などの自己修理の技術的な指導を実施します。				リサイクルプラ ザ宮の沢 671-4153
20	ごみニュケーション さっぽろの発行	ごみ減量・リサイクルに関する啓発用の資料として、「ごみニュケーションさっぽろ」を発行します。				リサイクル プラザ宮の沢 671-4153
21	ごみ減量講座	市民向けにごみの減量・リサイクル等に関する学習会を実施します。				リユースプラザ 375-4133
22	廃材木工教室	リユース出来ない木製家具の一部を利用した「木工工作教室」を実施し、資源の有効活用を提案します。				リユースプラザ 375-4134
23	小学校での体験型ごみの分け方・出し方教室	清掃事務所職員が小学校に出向き、ごみの分け方・出し方について実践的に学んでもらいます。また、希望により、ごみ収集車の展示、説明、模擬ごみの積み込み作業も行います。				環境局 環境事業部 業務課 211-2916

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
24	クリーンさっぽろ衛生推進協議会の活動支援	<p>クリーンさっぽろ衛生推進協議会に対し、環境美化・ごみ減量・リサイクル推進の活動を支援するとともに、以下の事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロの日に、ポイ捨て防止・環境美化を呼びかける街頭啓発やごみ拾いを実施します。 ・ごみ処理事情の最前線の報告などを主体とした研修会を実施します。 ・地域活動の功績を称え、町内会や個人などを表彰します。 ・ポイ捨て防止やエコ市民運動の普及啓発、実践に努めます。 				環境局 環境事業部 業務課 211-2916
25	清掃工場の施設見学対応	小学生・中学生や町内会などの清掃工場の見学者に、ごみ処理の仕組みを説明します。				環境局 環境事業部 施設管理課 211-2922
26	環境白書の作成	環境の状況、環境への負荷の状況、札幌市環境基本計画に基づいて実施された施策の状況などを公表するために「札幌市環境白書」を作成します。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
27	さっぽろエコ市民運動	市民の皆さんに家庭でできる身近なエコ行動をチェックする「エコライフレポート」を記載・提出してもらうものです。提出されたレポート用紙から、市民の環境行動によって削減できたCO ₂ 量を算出し、樹木の本数に換算して「エコライフの森」として植樹を行います。平成22年度末までに、目標の10万本に対して、15.4万本の植樹を行っています。（なお、「さっぽろエコ市民運動」は、平成22年度末をもって終了しました。）				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
28	自動車環境保全推進事業	座学や実車による講習会、街頭での呼びかけ、ステッカー等の配布や自動車燃費計の貸出し等により、エコドライブを推進します。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
29	環境教育基本方針推進事業	環境教育に関する施策の進捗状況や効果などについて、家庭・学校・市民団体・事業者、札幌市が協働により、定期的に評価・検証を行います。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
30	環境教育へのクリック募金	環境プラザのホームページ内に企業の環境への取り組みを紹介するページを作り、そのページの1閲覧(1クリック)につき5円の寄附をいただくことで、市内の小中学校に環境教育教材を寄贈します。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
31	環境教育ホームページによる情報提供	環境保全のホームページ内に環境教育のページを設け、環境教育に関する様々な情報を提供します。 (http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/)				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
32	環境情報誌「えこぼろ」の発行	市内で行われる環境に関する講演会や学習会、イベントなどの情報を毎月発行の情報誌やホームページでお知らせします。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
33	環境教育プログラムの提供	学校・家庭・地域・職場のそれぞれの場において環境教育を進めるための手引きとして、環境教育に関するプログラムをホームページ等で提供します。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
34	総合的環境副教材の作成	授業などで活用できる環境に関する副教材を作成し、市内全小学生に配布しています。また、副教材をより使い易いものにするため、毎年改訂を行っています。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
35	環境関連施設見学用バスの借上げ	小学校に対し、環境関連施設を見学する際に必要な交通手段としてバスの借上げを行います。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
36	「環境首都・札幌」推進事業	「環境首都・札幌」を推進するため、環境首都札幌推進協議会を開催し、市民・事業者の環境保全活動についての情報交換や市の事業に対する意見交換を進めるとともに、清掃工場等の環境関連施設への見学会を実施し、これらの結果をホームページで公表することで、環境活動の実践の輪を広げます。				環境局環境都市推進部環境計画課 211-2877
37	環境広場さっぽろ2010	総合環境展示会として、事業者・市民団体・研究機関・行政機関などが一堂に会し、地球環境を守るための活動、商品や技術の紹介、交流等を通じて、環境産業をはじめ様々な分野の環境保全活動の拡充を図ります。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
38	環境未来カップ2010の開催	子どもたちが、スポーツやクイズを通じて楽しみながら環境活動に取り組むイベントを開催します。上位チームは、札幌ドームでサッカーの試合ができます。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
39	さっぽろこども環境コンテスト2010の開催	小学生・中学生が行っている環境活動を発表し、審査により表彰することで環境活動の輪を広げることを目的として開催している「さっぽろこども環境コンテスト」を開催します。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
40	「さっぽろキャンドルナイト2010」の開催	夏至と七夕の日、夜8時から10時の2時間、みんなで一斉に電気を消して環境について考えようという呼びかけを広く市民に行います。当日は市内観光名所や事業所等の消灯を行うほか、夏至の約1週間前から七夕までの期間には、市内各所にて関連イベント等が開催されます。				環境局 環境都市推進部 環境計画課 211-2877
41	環境に関する各種情報の提供	チラシや冊子、インターネットなどにより、環境の現状に関する情報やセミナー・イベントなどの情報を提供します。				環境プラザ 728-1667
42	展示コーナーを利用した説明	展示コーナーの見学者や視察・総合学習などに対応し、環境について学んでもらいます。				環境プラザ 728-1667
43	環境に関する相談対応	環境に関する相談窓口を設置し、相談員が対応します。				環境プラザ 728-1667
44	環境に関する活動の場の提供	ミーティングルームや環境研修室の貸出を行い、環境に関する活動の場を提供します。				環境プラザ 728-1667
45	環境に関する市民活動団体の登録・紹介	環境に関する市民活動団体の登録を行うとともに、相談に来た市民に対する活動団体の紹介も行います。				環境プラザ 728-1667
46	環境に関する各種講座・イベントの実施	教員や子ども、一般市民を対象に、環境教育に関する講座やイベントを実施します。				環境プラザ 728-1667
47	環境保全アドバイザー制度	市内の市民団体、NGO、町内会、PTA等が主催する環境に関する学習会・講演会・自然観察会等に、各分野の専門家を講師として派遣します。				環境プラザ 728-1667
48	環境教育リーダー制度	学校の「総合的な学習の時間」などの授業やクラブ活動、観察会等に、助言や解説等を行う講師を派遣します。				環境プラザ 728-1667
49	こどもエコクラブの活動支援	こどもエコクラブの登録の手続きや、子どもたちの環境に配慮した活動への支援を行います。				環境プラザ 728-1667
50	エコアート	小中学生から環境に関するテーマをもとに作品募集・展示することで、環境保全や環境問題への興味関心につなげることを目的に実施します。				環境プラザ 728-1667
51	環境プラザがやってきた	市内に広く啓発を図ることを目的に、児童会館や環境関連施設へ出向き、遊びをとおして環境問題に気づく機会として実施します。				環境プラザ 728-1667
52	エコ+1 (エコプライチ)	遊びをとおして地球温暖化と生活環境の結びつきに気づき見つけなおすきっかけづくりを行います。				環境プラザ 728-1667
53	事業者への環境マネジメントシステムの推進	札幌市生活環境の確保に関する条例に基づく環境保全行動計画や自動車使用管理計画の作成・提出などを通じて、事業者の環境マネジメントシステムの推進を図っていきます。				環境局 環境都市推進部 環境共生推進担当課 (環境管理担当課) 211-2879

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
54	サッポロE C Oメニューの発行	札幌市生活環境の確保に関する条例の環境保全行動マニュアルとして、事業者のための環境活動ガイドブック「サッポロE C Oメニュー」を発行し、事業者に配布します。				環境局 環境都市推進部 環境共生推進担当課 (環境管理担当課) 211-2879
55	EMS等運用アドバイザー派遣制度	事業活動の現場にEMS専門家を派遣して、「環境マネジメントシステムとは？」から「より効果的な実践方法」など、ニーズに沿ったアドバイスをを行い、事業者の取組みを支援します。				環境局 環境都市推進部 環境共生推進担当課 (環境管理担当課) 211-2879
56	生物多様性リレーイベント	名古屋市での生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催に合わせ、市民の生物多様性に関する理解と関心を深めることを目的に、親子向けトークショーなど分かりやすく親しみやすい内容の普及啓発事業を円山動物園などで連続的に実施します。				環境局 環境都市推進部 環境共生推進担当課 (環境管理担当課) 211-2879
57	水辺とのふれあい推進事業	小学生・市民団体を対象に、身近な川の自然観察をすることにより水環境保全の意識を持ってもらうため、地域の川での水生生物観察会を支援します。また、取り組み事例の発表会も実施します。				環境局 環境都市推進部 環境対策課 211-2882
58	円山動物園動物科学館へのペレットボイラー導入	円山動物園動物科学館へ木質ペレットボイラーや木質バイオマスに関する展示アイテム等を設置することで、地球温暖化対策に有効な木質バイオマスの普及啓発を行います。				環境局環境都市推進部 環境共生推進課 211-2872
59	さっぽろふるさとの森づくり事業	手稲区の山口緑地、北区の茨戸川緑地、大通公園において植樹祭を開催します。				環境局 みどりの推進部 みどりの推進課 211-2522
60	木立を感じる街づくり事業	緑の協定や各種イベントなどを通して地域や家庭での植樹を推進します。				環境局 みどりの推進部 みどりの推進課 211-2522
61	北緯43°花香る北の街づくり事業	市民と協働して花苗を育成して植栽活動を行い、緑づくりに取り組みます。 また、道路残地などの公共未利用地において地域の方々が主体となった花壇づくりを推進します。				環境局 みどりの推進部 みどりの推進課 211-2522
62	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業	公園緑地の利活用促進、公園緑地におけるボランティア活動や樹木落葉等のリサイクル活動の拡充のため、担い手となる市民と協働のもと下記の取り組みを一体的に展開・実施します。 環境教育の場としての公園緑地の利活用促進に関する検討・企画・実施のために、市民参加によるワークショップや情報提供等のための拠点・ネットワークづくりを進めます。 公園・森林ボランティア活動の拡充・促進のため、資材提供・技術指導等の支援、普及啓発のほか、森林ボランティアとの協働による立木調査・管理方針策定を行います。 公園緑地での落葉等のリサイクル活動の拡充・促進のため、堆肥ヤードの設置、市民と協働での腐葉土づくり、市民配布等を行います。				環境局 みどりの推進部 みどりの管理課 211-2536

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
63	白旗山都市環境林での体験学習等の実施	<p>森林、林業、自然のしくみなどの理解を深めてもらう体験学習の場として、白旗山都市環境林内のふれあいの森・自然観察の森を中心に、市民を対象に、観察案内人による定期的な自然観察会、森に関するクイズに答えながらコースを周るクイズの森、自然観察コースの設置、木工教室、間伐材を燃やして使う穴窯による陶芸教室、冬期間には「かんじき」の無料貸出などを開催しています。このほか森林ボランティア登録団体との連携によりカーボンオフセット植樹やカミネッコンによる植樹、下枝払い体験など市民参加による森づくり活動を展開しています。</p> <p>また、森林整備や木質バイオマス利用の促進に向け、ふれあいセンター及び森林活用センター内に、それぞれ12台の薪・ペレット併用型ストーブを設置し、普及啓発を行っていくこととしています。</p> <p>さらに、豊滝・白川市民の森と自然歩道中の沢～小林峠・源八沢ルートでは、親子で参加できる自然観察会を実施しています。</p>				環境局 みどりの推進部 みどりの管理課 211-2536
64	サケについての実習	サケの稚魚を川に放流する「サケ稚魚体験放流」や、川に帰ってきたサケを観察する「サーモン・ウォッチング」などを実施します。				豊平川 さけ科学館 582-7555
65	円山動物園教育普及事業	<p>環境教育の場としての動物園を有効に利用してもらうことを目的とし、下記の事業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の総合的な学習の時間の受け入れ ・一日飼育係、解説等の実施 ・動物園の利用方法や飼育作業の様子、動物と環境の関係等について紹介するビデオ等の活用 ・貸し出し用教材の活用 ・動物と環境のかかわりについての特別展示 				円山動物園 621-1426
66	円山動物園環境教育プログラムの公開	動物との関わりを通じて、環境やいのちの大切さを学ぶことができるようホームページでプログラムを公開します。				円山動物園 621-1426
67	園内ピオトープの活用	身近な自然にふれあえるようにするため、園内のピオトープを活用します。				円山動物園 621-1426
68	こども動物園における環境教育プログラムの実施	子どもたちがいのちの大切さを学ぶため、ふれあいと体験を重視したこども動物園の環境教育プログラムに取り組みます。				円山動物園 621-1426
69	動物病院を活用した環境教育プログラムの開催	子どもたちがいのちの大切さや動物の生態を学ぶため、園内動物病院での環境教育プログラムに取り組みます。				円山動物園 621-1426
70	出前講座	動物園での環境教育の学習効果を高めるため、遠足などの来園前に学校へ出前講座を行います。				円山動物園 621-1426
71	園内施設の利用	動物園内に省エネルギー・新エネルギー施設の導入を行い、それらの施設を環境教材として利用します。				円山動物園 621-1426
72	環境教材ワークブックの提供	楽しみながら命の大切さや環境メッセージを伝えるため、主に小学校の総合学習での活用を想定した教材ワークブックを、動物園のホームページで提供します。				円山動物園 621-1426
73	農業に関する体験事業	野菜の収穫やバター・ソーセージなどの手づくり体験をすることができます。				サッポロ さとらんど 787-0223
74	さっぽろに緑を広めよう	環境林づくり研究所所長による基調講演、藻岩山登山による木のタネ拾い、そのタネと空きペットボトルを活用した植林用苗木ポットの作成を行った。				観光文化局 観光コンベンション部 観光企画課 211-2376
75	サッポロ・シティ・ジャズ	大通公演に設置するドーム型テント「ホワイトロック」を中心に、市内各所でジャズライブ等を開催する。そのうち、ホワイトロックで使用する電気（照明・音響・映像等）について、バイオマスエネルギーによる供給を行う。				観光文化局 文化部 市民文化課 211-2261

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
76	体験学習会、企画展 ・「湿原をめぐる～ 札幌の“原風景”を知る～」他9件	市内に残された貴重な自然や身近な動植物についての観察会や企画展等を行い、身の回りの生態系や環境問題について学ぶ。				観光文化局 文化部 市民文化課 博物館活動センター 200-5002
77	漂着物集めと化石採取	漂着物(漂着ゴミを含む)を通して、海の無い札幌の生活も川を通して海とつながっており、さらに海は世界とつながっている環境であることを学ぶ。また、漂着物を通して海の中で起きている現在の環境変化について学ぶ。				観光文化局 文化部 市民文化課 博物館活動センター 200-5002
78	博物館交流紙「ミュージレター」の発行	年4回発行し、区役所や図書館・博物館等関連施設で配布している。毎回、札幌の自然に関する自然科学に関する記事を学芸員や外部の専門家が執筆している。				観光文化局 文化部 市民文化課 博物館活動センター 200-5002
79	藻岩の森づくりプロジェクト	藻岩山の施設再整備にあたり、山頂、中腹、山麓の各エリアの緑化に関する整備内容について、ワークショップ、現地視察等を通じて提案を行う市民参加によるプロジェクトを設置しています。 藻岩山の事業エリア内における緑の創出活動や維持管理活動も併せて実施することとし、2010年度はロープウェイ山麓駅舎に至る桜並木の枝打ちを実施しています。				観光文化局 観光コンベンション部 観光企画課 211-2376
80	(藻岩山)環境教育プログラム	小学生を対象として、自然環境を保全していくことの大切さを理解してもらうことや藻岩山の動植物等の自然観察、山頂から一望できる札幌の歴史、自然についての学習を実施します。 (対象の学校は藻岩山周辺から徐々に拡大していく方向で進めています。)				観光文化局 観光コンベンション部 観光企画課 211-2376
81	環境報告書の発刊	環境報告書をHPで公表することで環境保全活動の普及啓発を図ります。				建設局 下水道河川部経営管理課 818-3452
82	下水道モニター事業	水環境保全等のため、下水道事業に関する市民意識の把握と広報活動を目的として、下水道モニターを委嘱し、連絡会や施設見学会を実施します。				建設局 下水道河川部経営管理課 818-3452
83	下水道科学館における広報事業	下水道科学館では、展示などを通じて、下水がどのようにきれいになっていくかをわかりやすく説明しています。また、下水道事業をお知らせするイベントとして、毎年9月に開催する「下水道科学館フェスタ」や、水環境に関する講座、実験工作教室などを実施しています。				下水道科学館 717-0046
84	多自然川づくり追跡調査の公開	札幌市の河川が自然豊かであることを幅広く市民に知ってもらうため、多自然川づくり追跡調査(動植物の生息生物調査)を実施し、調査の一部を公開で行うとともに、調査結果をHPで公開しています。				建設局 下水道河川部 河川事業課 818-3414
85	出前講座	下水道が水環境保全に対して担っている役割について紹介しています。				建設局 下水道河川部 下水道計画課 818-3441
86	出前講座	河川(水環境)への関心を高めるために、出前講座として「さっぽろの川とくらし」と「さっぽろの川と生きもの」を行っています。				建設局 下水道河川部 河川事業課 818-3414

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
87	川に親しむ機会の提供・支援	河川に関心を持ち、親しんでもらえるように水生生物観察会の開催や支援を行っています。また、水辺での活動の輪の拡大を図ることを目的に取組み事例の発表会を開催しています。				建設局 下水道河川部 河川事業課 818-3414
88	普及啓発冊子の充実	河川環境に関する啓発冊子「川を「つくる」から川と「共に生きる」へ」や川の変遷や利用の歴史をまとめた「川と人々の暮らし」を発行し、周知・啓発を行っています。				建設局 下水道河川部 河川事業課 818-3414
89	河川に関する各種情報の提供	メールマガジンや冊子、パネル展などにより、河川で行われるイベントや河川環境などに関する情報を提供しています。				建設局 下水道河川部 河川事業課 818-3414
90	河川美化活動支援制度	河川のアピール意識の高揚及び良好な河川環境の保全を図ることを目的に河川愛護団体等が行う清掃等の参加者に対し、保険の加入、ゴミ袋・軍手・タオル・ゴム手袋の支給、ゴミの回収などを行い、美化活動の支援を進めています。				建設局 下水道河川部 河川管理課 818-3415
91	出前講座	環境にやさしい市有建築物を造るために導入されている、省エネルギー・新エネルギーの技術について紹介しています。				都市局建築部 建築企画課 211-2816
92	普及啓発冊子の充実	自然・省エネルギーを取り入れた建物づくり等、市有建築物を造る際に、どのような環境配慮を行っているかの事例を紹介した啓発冊子「地球にやさしい建物づくり」や「環境に配慮した たてものがたり」「地球にやさしい新エネ省エネマップ」を発行し、周知・啓発を行っています。				都市局 建築部建築企画課 211-2816
93	「乗ってコ！プロジェクト」	環境負荷の少ないエコな乗り物である地下鉄や市電の利用促進及びICカード乗車券「SAPICA」の普及を図ることを目的として、平成21年9月から開始した「乗ってコ！プロジェクト」を引き続き実施しています。 プロジェクトのキャラクター「のってこ〜ず」（のってコグマ・のってカエル・のってシマウマ）をウィズユーカードデザイン等に登場させたほか、のってコグマの着ぐるみを制作し、イベントなどでプロジェクトのPRを行いました。また、商業施設等との連携により、SAPICA等の乗車券提示によるプレゼント特典を実施しました。				交通局 事業管理部 営業企画課 896-2706
94	環境にやさしい公共交通利用促進キャンペーン	環境にやさしい交通機関として、地下鉄及び路面電車の利用促進をPRします。具体的には、公共交通機関利用によるCO2削減などを記載したチラシを作成し、職員が駅構内で利用者等へ手配りするほか、沿線の企業及び個人宅を直接訪問して配布しました。				交通局 高速電車部業務課 896-2742（2423）
95	夏休み親子水道施設見学会	小学校中・高学年の子どもと保護者を対象とし、水道がどのようにして家庭まで届くのかをダムや浄水場等の各施設を見学し、説明を受けることで学習してもらいます。このことにより、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性などについての認識と水道事業についての理解を深めてもらいます。				水道局 総務部総務課 211-7007
96	水道局キッズページ	クイズやゲームを楽しみながら、自然と水道との関わりを学ぶことができる、小学生を対象としたホームページを開設しています。				水道局 総務部総務課 211-7007
97	水道記念館での体験型学習	水道記念館では、展示室全体で大自然から大都会そして海へと向かう水の旅を表現し、参加・体験をしながら、水道を通して自然環境と人間の関わりを考え、水や自然の大切さを学ぶことができます。				水道記念館 561-8928
98	国際技術協力の推進	JICA研修員の受け入れを実施し、その際に水道局の環境配慮型経営の内容を含めたプログラムを実施することで、環境に配慮した経営の取組を海外研修員に向けても紹介しています。				水道局 総務部 財務企画課 211-7016

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
99	環境報告書の作成・公表	水道局の環境に配慮した取り組みを記載した環境報告書を毎年度作成し、市民等に公表しています。また、この報告書は、市内の小中学校などへ配布しています。これにより、環境に配慮する意識の啓発を行うとともに、職員の意識の向上を図っています。				水道局 総務部 財務企画課 211-7016
100	水道事業に関する出前講座	水道事業における環境負荷と、環境マネジメントシステム、環境会計、各種施策などの取組について紹介します。				水道局総務部 財務企画課 211-7016
101	種から育てる花苗づくり支援事業	地域住民等に種から花苗を育ててもらい、公園の花壇、植樹樹、植樹帯に植栽し花のある魅力ある快適環境の保全・創出を進める取り組みを実施します。				北区市民部 地域振興課 757-2400
102	世代間交流フラワーネット事業	北24条地区において、近隣の小学校児童と地域の高齢者との共同による植花作業を通し、地区の緑化を進めるとともに、世代間交流の促進を図っています。				北区市民部 地域振興課 757-2400
103	北8条アマとホップのフラワーロード事業	北区と東区にまたがる北8条通付近は、かつて麻布を製造していた帝国製麻工場やサッポロビールの前身である開拓使麦酒醸造所があった札幌にとって歴史的な道路である。東区との連携で、札幌駅前を基点として、地域の歴史にゆかりのあるアマとホップを地域住民と企業等との協働で植樹樹に植栽し、「アマとホップのフラワーロード」として維持管理と環境美化を進め、まちの魅力アップを図ります。				北区市民部 地域振興課 757-2400 北区土木部 維持管理課 771-4211 東区市民部 地域振興課 741-2400
104	不法投棄・ポイ捨て防止事業	不法投棄のある場所、その恐れがある場所に、不法投棄の防止を呼びかけるのぼり旗を設置するなどの防止策をとることで、地域環境の改善を図ります。活動は、地域住民や学校との協働で行うことにより、普段からその場所に人の目が注がれていることをPRしています。				北区市民部 地域振興課 757-2400
105	まちづくりセンターにおける廃食油の回収・リサイクル事業	北区役所や区内の各まちづくりセンター、地区センター等を廃食油の回収拠点として位置づけ、廃食油の回収ボックスを設置しています。 回収した使用済み食用油を再利用し、地域のイベントでアイスキャンドルに活用するなど、ごみの減量や地球環境保護に対する市民意識の醸成を図っています。また、北区役所で回収した使用済み廃食油は、当別町との連携の一環として亜麻の種と交換し、「種から育てる花苗づくり支援事業」で区民に配布するなどして活用しています。				北区市民部 地域振興課 757-2400
106	北区アダプト・プログラム事業	市民と行政の協働による地域の美化を進めるため、平成22年度からアダプト・プログラム制度を導入しました。地域のまちづくり団体や企業と区が協定を結び、団体・企業が行うごみ拾いなどの美化活動を、清掃用具の提供等により支援しています。 「アダプト」とは、英語で「養子縁組する」という意味。市民が一定の地域を養子に見立て、愛着と責任をもって美化活動を行うことから「アダプト・プログラム」と呼ばれています。				北区市民部 地域振興課 757-2400
107	東区キャンドルナイト	児童会館と東区の共催により、キャンドルナイトの趣旨説明、アロマキャンドルづくり、キャンドルサービス体験などを実施し、地域の親子に環境について考えてもらう契機とする。また、併せて演奏会を開催し、多くの参加者に楽しんでもらう。				東区市民部 地域振興課 741-2400
108	白石区子ども向けホームページ「しろいしキッズ」	今年度、白石区役所ホームページに掲載している子ども向けホームページ「しろいしキッズ」の拡充を図るため、新規ページを製作しています。（平成21年度中に公開予定）このうち、北海道情報専門学校の協力を受け、市政等について子どもが楽しみながら学べるページとしてゲームコンテンツを製作しており、その中でごみ分別と環境に関するクイズを掲載する予定です。21年度末に公開済。22年度は引き続き公開中（ただし、更新はなし）				白石区市民部 総務企画課 861-2400

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
109	月寒川にぎわい川まつり	区内の子どもたちが地域の身近な自然である月寒川に触れ、川の観察や生態系などを学習し、日常生活と自然環境とのつながりを考える機会とするとともに、家族や地域の方とのふれあい・交流の場とすることで、子どもの健全育成を推進します。 白石区土木センターそばを流れる月寒川において事前準備として草刈りやごみ拾いなどの清掃を行い、まつり当日には月寒川の探検、水車による発電実験、カヌー・浮島体験を行っています。 隣接の町内会連合会、白石区ふるさと会、白石厚別建設協会、白石区災害防止協会の、川の相談室、日本技術士会北海道支部RS研究会等のボランティアの協力により実施します。 平成22年度は雨天による川の増水のため中止				白石区市民部 地域振興課 861-2400
110	とよひらHANA-LAND	自然に恵まれた緑多い豊平区を花で飾り、美しいまちにするるとともに、花を通じた住民間の交流の場作りを目指して、豊平区の花「ペチュニア」を始め区内合計で1万株以上の花を植えている事業。区の支援に基づき学校や地域が主体となって植花作業やその後維持管理、更には種からの育苗に取り組むことで、みどりの増進を始め環境への配慮に関して実地で学ぶ機会を提供している。				豊平区市民部 地域振興課 822-2400
111	種などを活用した環境への理解促進	豊平区の札幌ドームを拠点に活動する北海道日本ハムファイターズ区民応援デーやフラワーコンサートなど多くの区民が訪れるイベントにおいて、啓発カード入り花の種の配布を通じてみどりの増進を始め環境への配慮に関して学ぶ機会を提供している。				豊平区市民部 地域振興課 822-2400
112	とよひらお掃除隊	陵陽中学校の生徒と区役所職員が協働で地域に貢献できる活動を考え取り組むもので、陵陽中学校周辺の道路・公園などの清掃活動を生徒と職員が交流しながら行う。ごみの分別についても学習した。				豊平区市民部 地域振興課 822-2400
113	「清田区ごみゼロキャンペーン」(環境保全活動推進事業)	ゴミゼロの日(5月30日)における区役所周辺の清掃・美化活動、「ポイ捨て防止」の街頭啓発運動を、清田区クリーンさっぽろ衛生推進協議会との共催で実施しています。				清田区市民部 地域振興課 889-2400
114	「夏休み子どもごみサミット」(施設見学会)	清田区クリーンさっぽろ衛生推進協議会との共催で、区内小学校から推薦された児童を対象として、白石清掃工場や中沼プラスチック選別センターなどの清掃事業関連施設を見学します。				清田区市民部 地域振興課 889-2400
115	「あしりべつ川体験塾」	子どもたちの環境教育や環境美化を目的として、地域のボランティア団体の協力の下、魚の捕獲・観察や清掃活動を行います。講師として豊平川さけ科学館の職員が参加します。				清田区市民部 地域振興課 889-2400
116	食育推進事業	食を通じた健康づくりを普及させるため、区民を対象に講座や調理実習を実施していますが、その中で、買い物から余った材料の捨て方まで、ごみ減量に配慮する観点を取り入れています。				清田区 保健福祉部 健康・子ども課 889-2400
117	こども西区民会議ネットワーク支援事業	子どもたちを対象に以下の事業を実施することで、次世代の活動実践者としての成長を促しています。 ・(自然観察・体験)エコキッズ・プログラム推進事業 ・(自然観察・体験)西区子ども体験学校 ・(環境普及啓発)西区こども環境広場 など				西区市民部 地域振興課 641-2400
118	地球に優しいまちづくりを進める西区民会議活動支援事業	地域・学校・企業等から構成される「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」において、以下の環境に関する教育・学習、普及啓発活動を通じ、地域ぐるみでの環境活動の促進を図っています。 ・(省エネ普及啓発)キャンドルナイト in 琴似二十四軒 ・(人材育成)西区環境まちづくりリーダー制度 ・(ごみ減量)廃食油回収・リサイクルの見える化 ・(環境普及啓発)地球に優しいまちづくりフォーラム など				西区市民部 地域振興課 641-2400

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
119	こども西区民会議事業	子どもたちが様々なテーマや事業において、互いに連携・協力、情報共有し、子どもが主体となったまちづくり活動を行う推進母体として平成21年度に「こどもによるまちづくりを進める西区民会議」を設立しました。 平成22年度こども西区民会議では、わかりやすい情報の提供、環境活動への参加促進及び郷土愛の醸成を図るため、小・中学生が「こども環境記者」となり、環境関係の施設や環境活動を行う団体・人物取材し、自ら体験した内容をブログや壁新聞により情報発信します。				西区市民部 地域振興課 641-2400
120	琴似発寒川の環境保全推進事業	区内各連合町内会や企業等との協働により、春・秋の琴似発寒川の一斉清掃と、区内に居住する子どもを対象に、春季のやまめの稚魚放流事業を実施しています。				西区市民部 地域振興課 641-2400
121	生ごみリサイクル循環型地域形成推進事業	市民活動団体と連携し、前田森林公園拡張地における生ごみ堆肥化を活用した農園での農業体験や環境教育の取り組みを支援します。また、リサイクル活動に力を入れている関係団体との連携を深めながら、ダンボールを使った生ごみリサイクル講習会を実施します。				手稲区市民部 地域振興課 681-2400
122	エコ体験会	手稲区の環境について親子で考える体験事業として、手稲区民センターとの共催により、札幌市環境教育リーダーのもと、星置の滝の観察をはじめ星置川で魚や水生生物の採取・水質検査を行い、環境保全について学ぶなどの環境学習を行う予定でした。 実施当日は、前夜からの豪雨によって川が増水し濁流であったこと及び悪天候により、参加者の安全性が確保できないとの判断からやむなく中止とすることとした。				手稲区市民部 地域振興課 681-2400
123	地産地消による北海道型食生活推進事業	日本型食生活に新鮮な道産食材(特に手稲区近郊で栽培された野菜など)を取り入れる「北海道型食生活」の講習会等を地域住民とともに開催しています。健康的な食習慣と合わせ、地産地消によるフードマイレージの軽減やエコクッキングによるゴミ減量等についても普及啓発を行っています。				手稲区 保健福祉部 健康・子ども課 681-1211
124	さっぽろ学校給食フードリサイクル	学校給食を作る過程で発生する調理くずや残食などの生ゴミを堆肥化し、その堆肥を利用して作物を栽培します。そして、できた作物を学校給食の食材に利用し、食育・環境教育の充実を図ります。				教育委員会 生涯学習部管理課 (栄養指導担当) 211-3833
125	太陽光パネル設置事業	子どもたちや地域住民の環境意識の向上を主眼に置き、全ての学校施設に太陽光パネルを設置します。 本パネルを設置する際は、屋上の歩行用防水やフェンスの設置を行い、直接見学できるように整備します。				教育委員会 生涯学習部 計画課 211-3835
126	グラウンド緑化事業	怪我に繋がりにくい良好な学習環境を整えるとともに、みどりのふれあいによって子どもたちの環境意識を向上させるため、学校施設においてグラウンドの緑化整備を行います。				教育委員会 生涯学習部 計画課 211-3835
127	学校・みどりのふれあい推進事業	学校生活における自然・環境教育の一環として、子どもたちや保護者、地域住民との連携により植樹を行います。				教育委員会 生涯学習部 計画課 211-3835
128	家庭教育事業	平成22年度の家庭教育学級全市合同学習会において家庭教育学級生などを対象に水環境教育をテーマとした講演会を開催したほか、後日、講演会参加者を対象とした親子体験型の学習会を実施し、市内2カ所の河川において水生昆虫の観察などを通じ、川の生き物や自然環境の大切さについて学びました。				教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進課 211-3872
129	青少年山の家での野外活動プログラムの開発、指導・助言及び実施	自然環境を生かした野外プログラムや施設を活用した室内プログラム、北国ならではの雪中プログラム等を研究・開発し利用団体への提供を行ったり、自然への気づきや愛護、環境保護の精神を養うプログラムをキャンプ等に盛り込んで実施している。				青少年山の家 591-0303

No	事業名	事業の概要	分野別の関連			担当課・ 電話番号
			エネ	ごみ	自然	
130	青少年山の家での環境教育指導者養成講習会	社会的ニーズの高い環境教育プログラムの指導方法に関する講習会を実施し、青少年山の家での指導や主催事業に反映させる。				青少年山の家 591-0303
131	青少年科学館での環境に関する展示	青少年科学館では、温暖化実験装置や太陽光発電装置など、環境とエネルギーをテーマにした展示コーナーを設置しており、環境問題や自然エネルギーなどについて、楽しみながらわかりやすく学習することができます。（平成23年3月26日にコーナーオープン予定）				青少年科学館 892-5001
132	定山溪自然の村での自然体験型プログラムの実施	自然や動植物の大切さ、接し方について理解を深めるため、森の学習会や星空観察会、自然&環境ワークショップなどのプログラムを実施しています。				定山溪自然の村 598-3100
133	学校の教科や総合的な学習の時間等における環境教育	学校において、教科や総合的な学習の時間等において、省エネ（節電や節水）、ごみ減量・リサイクル（教室のごみの分別や給食の残食等の分別）、水とみどりの大切さ（一人一鉢等の植栽活動や街路樹ます花壇等への植栽）などに関する環境教育を行います。				教育委員会 指導担当課 211-3861
134	給食用牛乳パックのリサイクル	学校給食用の牛乳パックのリサイクルを行うことで、ごみの減量とリサイクルについて学びます。				教育委員会 指導担当課 211-3861
135	P T A などと連携した環境活動	学校と P T A、家庭教育学級や地域と連携し、資源回収や地域の清掃などの活動を行います。				教育委員会 指導担当課 211-3861
136	札幌エコスクール宣言事業	各幼稚園及び学校が自校における節電、節水、ゴミ減量等の日常的な取組や、教科などにおける環境に関する学習の様子をエコスクール宣言として公表したものを教育委員会がエコスクール宣言校として認定することで、園・学校の取組を地域に示すとともに、取組情報の共有を図り、環境教育を一層推進します。				教育委員会 指導担当課 211-3861
137	さっぽろっこ農業体験事業	小学生が、実際に稲作などの農業体験を行うなどして、食の大切さへの理解をさらに深める実践研究をモデル校10校において行い、研究成果等を市立学校に還元します。				教育委員会 指導担当課 211-3862
138	さっぽろらしい特色ある学校教育 実践資料集の作成	環境教育にかかわる年間活動計画例や具体的な実践事例を幼・小・中・高の全ての校種で示すことによって、各教科等の教育課程に環境教育を位置付け、市立園・学校における環境教育がより一層の充実を図ります。				教育委員会 指導担当課 211-3862
139	環境教育に関する研修講座	一般教諭を対象に「各校種における環境教育の実践」、「札幌市環境教育プログラムの活用法」、「環境教育に役立つ施設の利用法」及び「フードリサイクルの活用法」等の講座を、初任者を対象に「学校教育における環境教育の在り方」等の講座を開設しています。				教育委員会 研修担当課 TEL 671-3410
140	北方自然教育園での自然体験学習会	自然に触れ、親しむ場として、市内の小学生、中学生及びその家族を対象に自然体験学習会を実施しています。				北方自然教育園 596-3567
141	北方自然教育園における農業体験	幼稚園や学校の子もたちに、米作り、野菜作り、果樹収穫等の農業体験の機会を提供することにより、水とみどりの大切さを理解し、守り育てようとする心を育む活動に取り組んでいます。				北方自然教育園 TEL 596-3567

環境教育関連施策・事業一覧
< 2010 年度版 >

編集・発行：札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

電話 (011) 211 - 2877

FAX (011) 218 - 5108

< 札幌市の環境教育のページ >

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku